

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
2024 年 6 月 25 日	
長野県知事	様
提出者	
住 所	新潟県新潟市中央区八千代 1 - 4 - 1 6
氏 名	大成建設株式会社北信越支店 執行役員支店長 富永 正
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 025-247-1166	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	下諏訪岡谷 B P 山田トンネル工事 他
事業場の所在地	長野県岡谷市赤羽 1 - 4 - 1 8 他
計画期間	2 0 2 4 年 4 月 1 日 ~ 2 0 2 5 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	0 6 総合工事業
②事業の規模	北信越支店 元請完成工事高 318億3,200万円
③従業員数	北信越支店管内 2 0 6 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・がれき類：再生処理業者へ委託→原料として再資源化 ・廃プラスチック類：再生処理業者へ委託→原料として再資源化 ・木くず：再生処理業者へ委託：木材チップとして再資源化 ・汚泥、ガラス、ガラスくず類：処理業者へ委託 ・金属くず：鉄、非鉄に分別→処理業者へ委託→再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 業者委託農業水実施 ・ 他の廃棄物が混入しないように保管・管理する ・ 梱包材の簡素化		
②計画	【目標】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記取組の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず・金属くず・廃プラスチック類・がれき類は分別を実施、他の廃棄物が混入しないように保管・管理する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取組、及び分別の徹底

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2023年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—— t	t
	（これまでに実施した取組） 特に予定はない。		
②計画	【目標】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—— t	t
	（今後実施する予定の取組） 		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2023年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—— t	t
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
②計画	【目標】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—— t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	4,953.70 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	65.8 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3,437.10 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。 当社における指定業者を選定し、毎年処理場への調査を行っている。		

②計画	【目標】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	2, 000 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	40 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1, 245 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	可能な優良認定業者から委託先を限定する。 委託先処理業者には定期的に現地確認をする。		
	※事務処理欄		

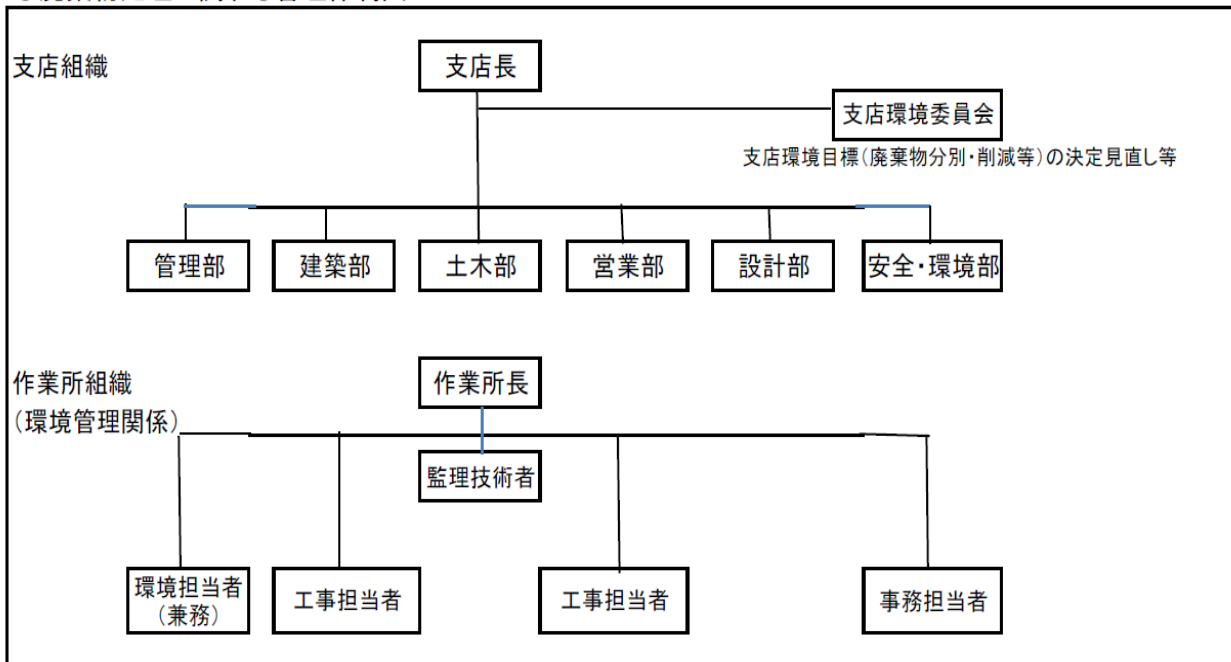
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行っていない場合における熱回収を行っていない産業廃棄物の量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）であ
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入
- 7 ※欄は記入しないこと。

○廃棄物処理に関する管理体制

統括管理責任		大成建設株式会社北信越支店 支店長
廃棄物担当		安全・環境部 3人
役割	支店環境委員会	○廃棄物処理に関する検討
		廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進
		計画的な廃棄物の管理を行う上で必要な事項を検討する
	事務局－安全・環境部、関連部室長	
	廃棄物処理 統括責任者	○廃棄物処理方針の策定
		○支店の廃棄物管理規定の策定・改廃
		○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当者 作業所長	○廃棄物処理計画の作成
		○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
		○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握
		○委託契約の締結
		○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置
		○監督官庁への各種報告
		○社員、関連会社に対する教育、啓発
		○その他関係する事項

○廃棄物処理に関する管理体制図



2024 年度産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

単位：t

実績：前年度産業廃棄物排出量

計画：当年度産業廃棄物排出量の目標値

産業廃棄物の種類		総排出量		自ら再生利用を行った（行う）量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量		処理の委託									
						自ら熱回収を行った（行う）量		自ら中間処理により減量した（する）量				全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		自ら直接再生利用した量等を含めた事業場における産業廃棄物の合計量		自ら直接再生利用する量と自ら中間処理を行った後に再生利用する量				中間処理前の量から中間処理後の量を引いた量		自ら直接埋立・海洋投入処分する量と自ら中間処理した後に自ら埋立・海洋投入処分する量		自社内で処理を行わず直接委託した量と自ら中間処理した残さ量のうち処理業者に委託して処理する量		優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）		中間処理後、有効利用されている場合の委託量（委託先から別の業者に売却等される場合を含む。）		認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）		認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	
		①		②＋⑧		⑤		⑦		③＋⑨		⑩		⑪		⑫		⑬		⑭	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
法 律	1 燃え殻																				
	2 汚泥	397.00	200									397.00	200			397.00	200				
	3 廃油																				
	4 廃酸																				
	5 廃アルカリ	0.70										0.70									
	6 廃プラスチック類	61.90	50									61.90	50	2.74	2						
政 令	1 紙くず	2.10	3									2.10	3	0.13	0	0.10					
	2 木くず	40.70	30									40.70	30	0.70	1	40.70	30				
	3 繊維くず																				
	4 動植物性残さ																				
	5 ゴムくず																				
	6 金属くず	22.1	15									22.1	15	22.1	15	22.1	15				
	7 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	68.3	52									68.3	52	1.93	2						
	8 鋳さい																				
	9 がれき類	4,360.70	1650									4,360.70	1650	38.20	20	2,977.20	1000				
	10 家畜ふん尿																				
	11 家畜の死体																				
	12 動物系固形不要物																				
	13 ばいじん																				
	14 処分するために処理したもの																				
合 計		4,953.50	2,000	0.00	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4,953.50	2,000	65.80	40	3,437.10	1,245	0.00	0.00	0.00	0.00

※ 総排出量＝自ら再生利用を行った（行う）量＋自ら中間処理により減量した（する）量＋自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量＋全処理委託量

【記載方法】

- ・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の左に前年度の実績（現状）を右に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、右欄にそれぞれの内訳を記載してください。
- ・「自ら再生利用を行った（行う）量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。